

1 調査日 令和4年7月15日（金）

2 調査の概要

（1）水上警察隊大津分駐所（大津市）

水上警察隊は、警備艇を駆使し、プレジャーボートの安全指導や取締まり、船舶事故者および水難者の救助などを行い、湖上の治安維持や船舶、遊泳者などの安全確保を担う唯一の専門部局である。

近年、湖上レジャーの多様化が進み、バスボートや水上オートバイの動力船以外にもカヌーやサップなどの無動力船が多数航行し、急激な天候の変化に伴う強風や高波による転覆、漂流のほか、利用者の安全意識やマナーの欠如による衝突などの船舶事故が多発している。

ついては、水上警察隊の活動概要や体制、平成31年3月に竣工された大型警備艇「たかしま」の装備資機材の整備状況や今後の整備方針等について調査を行った。



（2）大津港（大津市）

大津港は、大型遊覧船や小中型船が着岸できる棧橋があり、船に乗り降りする観光客が集う大コンコースを備えた大津港ターミナルに加え、一年中芝生に彩られ住民が気軽に憩うことができる修景緑地など、琵琶湖の玄関口として整備されている。

近年、自転車を利用して琵琶湖を一周するビワイチの関心が高まり、ビワイチの新たな拠点として、大津港旅客ターミナル内に大津港サイクルステーション「O-PORT-table」が令和4年4月にオープンしたところである。また、大津港業務用地に新たな琵琶湖文化館が建設される予定である。

ついては、土木交通部が所管する大津港の管理や利活用、大津港サイクルステーションの開設に伴う通路の舗装等の整備状況について調査を行った。



(3) 吉川新浄水場（野洲市）

吉川浄水場は、湖南水道用水供給事業および南部工業用水道事業との共同施設となっており、昭和53年に用水の供給を開始し、現在、湖南地域の5市に水道用水と44社に工業用水を供給している。

企業庁として災害に備えるため、耐震対策工事を実施するとともに、健全経営を維持するため、令和4年1月から引込管工事費用の支援の拡充を行うなど工業用水の需要拡大に向けた取組を進めているところである。

については、耐震対策工事を実施中の吉川新浄水場を調査するとともに、工業用水利用企業と「滋賀県の工業用水の利用を通じて感じていること」、「滋賀県の工業用水の需要拡大に向けて求められること」などをテーマとして意見交換を行う県民参画委員会を実施した。

